



2022年 12月 8日発行 会報第1126号

今週のプログラム

(2022年12月08日 第1126回例会)

3分間卓話②

テーマ「こんな1年でした」

全会員

次週のプログラム

(2022年12月15日 第1127回例会)

卓話：コロナのよもやま話

担当：黒川 彰夫 会員

第1125回例会 (2022年12月1日) の記録

「会長の時間」

山田 克子会長

本日のお客様は米山奨学生のグエンさんです。最後まで楽しんでください。

今日は12月1日です。師走になりますと何故か落ち着かないのは女性ばかりでしょうか。年末まで大掃除に追われ、お正月の準備も含めて齷齪します。皆さんの会社の仕事納めは今年はいつでしょうか。今年には28日で仕事を終わられる会社が多いようです。

ところで12月1日はどんな日なのか調べてみますと、今日は「世界エイズデー」でもあります。そして皆さんご存知の方は多いと思いますが12月1日は映画の日でもあります。昔から割引のあるこの日に私もよく映画館に足を運びました。今回初めて知りましたが、1912年12月1日に警視庁で警察犬が初めて登用された日でもあるようです。最後に縁起のよい12月1日のお話ですが、日本で初めて1万円札が誕生した日が1958年の12月1日です。聖徳太子肖像の1万円札です。その前年に5000円札が誕生しましたが、それも聖徳太子でした。高額紙幣が相次いで発行されていることから、当時の経済成長が伺い知れます。これまでに聖徳太子の肖像は7種類のお札に採用されました。そんな経済成長の象徴のような縁起のよい聖徳太子の話をさせていただいた理由は、明朝のサッカーワールドカップを意識しました。こじつけではありますが、どうか明朝午前4時からのワールドカップの試合が縁起のよい結果となりますように。

<12月のお誕生日>

1日 西本詩子会員 8日 藤田会員 23日 木下会員 29日 山田会員



Happy Birthday!

<お客様> 2022 学年度 米山奨学生 グエン キム フンさん

<出席報告> 松田 親男 SAA

会員数 (内免除会員 1 名) 19 名
本日の会員数 10 名
(内出席免除会員 0 名)
(内名誉会員 0 名)
本日の出席率 55.56%

11/24 の出席率 52.63% (誤) → 55.56% (正)

11 月 H.C. 出席率 57.14% (誤) → 58.18% (正)

<ロータリーソング> 全会員

♪国歌 君が代♪

♪奉仕の理想♪

<本日の演奏曲目> 近藤 美里さん

1. Chestnuts Roasting On An Open Fire

2. そりすべり

3. Here Comes Santa Clause

4. O Holy Night

5. We Wish A Merry Christmas

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. IM ロータリーデーの案内が参りましたので、全会員レターケースに案内チラシを配布致しました。全員登録の地区行事ですので、登録料¥3000 は第 3 四半期会費と共に徴収させていただきます。実際に出席される方は、回覧出席表にご記入をお願い致します。合わせまして、クリスマス例会出席表へのご記入もよろしくお願い致します。

2. 12 月 15 日例会に元米山奨学生で現フィジー大使館一等書記官のクレラ・サブさんが出席される事になりました。奈良での公務の後にお出で下さるとの事です。

3. 米山奨学生 グエンさんが静岡の米山梅吉記念館の見学ツアーに参加され、お土産を持って来て下さいました。



<ファイン セッション>

担当 水島会員からの出題を山本幹事代読

例会場抛金 ¥8,285



<SAA 報告>

松田 親男 SAA

*スマイルボックス

松田会員 卓話よろしく！！

*ラオス基金

柳原会員 税務調査は、今年は終わり！

*ロータリー財団

山田会員 松田会員 卓話宜しくお願ひします。

相原会員・松田会員 コメントなし

*米山記念奨学会

柳原会員 少しずつ落ちついてきました。

藤田会員 グエンさん 今日も宜しく！！

山田会員 グエンさん ようこそ。12/15 クレラさんが来てくれます。

木下会員 グエンさん ようこそ！

山本(雅)会員 今年最終です。皆様よいお年を！！

相原会員 コメントなし

*メイプル基金

藤田会員 松田会員、卓話宜しくお願ひします。

柳原会員 釣りに行きたいです。

山本(友)会員 コメントなし

《本日のお料理》



翠園の X'mas ツリー



1. 但馬鶏の醤油煮（冷製）
2. 秋巻（秋刀魚、渋皮栗）
3. 青梗菜の炒め物
4. 豚肉と野菜の角切り炒め
5. 海老のチリソース煮
6. 白飯、ザーサイ
7. ココナッツミルク

1.はじめに

皆さん、プログラム委員（以下「PG 委員」といいます）は何をしているか、ご存知ですか。そうです。プログラムを作っています。組織の上ではS A Aに属していますが、委員が一人だけで、委員会という組織体ではありません。合議体ではないので、PG 委員が一人で全てのプログラムを策定します。しかし、独断専行ではなく、原案を理事会に提出して、承認を得て、執行されています。

私が PG 委員に本格的に関与しだしたのは、2006 年の 1 回目の会長の時からです。その後 2017 年藤田会長の時に PG 委員を拝命してから 6 年連続務めました。

1 回目の会長の時からすると通算 18 年程 PG には関与し続けています。

2.PG 委員の苦悩

(1) 当クラブでは今まで、事故や事件アクシデントで予定のプログラムが流れたことはありません。突然、ドタキャンなどで穴が空いたことは記憶の限りではありません。皆様の協力に感謝しています。

しかし、変なプログラムを組むと、会員から不満が出ます。

PG 委員の悩みはそこにあります。

(2) 卓話回数について

その最たるものは、卓話回数です。（今まで卓話が多いと苦情を言われた会員は一人もいません）しかし、これは会員数を増加すれば解決することですので、責任は PG 委員にはありません。

ただ、負担減のための 3 分間卓話・地区からの招聘等はずっと早くやるべきだったと反省しています。

(3) 役職付会員の負担増

当クラブは会員数 18 人に対し理事者は 12 人です。会員は、ほとんど奉仕委員会と兼職しています。奉仕委員会の委員長の方はフォーラム等と卓話が競合します。これも会員数を増加すれば解決する問題ですが、話はそんな簡単ではありません。

一番心配しているのは、役職付会員の負担が増えて、特定の会員が常時負担を強いられることになれば、疲弊もするでしょうし、帰属意識の希薄化も心配されます。頑張ってください役職付の会員に感謝申し上げます。

それを知りながら、頼まなければ例会維持できません。プログラムの策定は孤独な作業です。

3.プログラムの作成手順（昨年度の例から）

(1) 定例行事

お月見例会 お花見例会 新年例会 創立記念例会、G 補佐訪問対応アセンブリー、G 補佐訪問、G 訪問、4 大奉仕委員会のフォーラム、会長のアセンブリー
これらは毎年行う定例行事です。これ等の定例行事を、適宜例年通りに振分けます。

(2) 3 大奉仕活動事業

その次にクラブ奉仕以外の 3 大奉仕委員会の活動行事を振り分けます。

現在、国際奉仕・職業奉仕・社会奉仕活では、資金拠出の活動は行っていますが、会員が汗をながす、体を動かす活動は、国際奉仕の留学生交歓会のみです。過去には国際奉仕（ラオス支援活動）や社会奉仕（薬物絶対ダメ活動）等がありました。コロナ禍や会員数の影響もありますが、会員自身が体を動かして、奉仕活動を体現する企画を増やしたいものです。

(3) 地区委員会からの卓話

その次に地区から派遣をお願いする財団・社会奉仕・米山・職業奉仕の各委員会卓話4回を振分けます。チョット早めの予約が必要です。

(4) 卓話

次に、卓話を配点していきます。

卓話には三分間卓話（年4回、指定・自由テーマ、各2回）と通常卓話（年間約10回）があります。今のペースですと卓話は2年に1回くらいになります。

しかし、過去の卓話は「悲惨」な歴史があります。

2020年山本会長のとき、卓話回数23回、会員数18名ですから、1年で2回当たる人が5人いる。平均すると年間約1.3回 年1回は必ず当たります。

そこで、当時は2年で3回というローテーションを組んでいました。

その頃は、会長・幹事・親睦委員長は卓話免除のルールでしたが、今は、ご高齢の会員と会長のみ卓話免除となっています。

過去の会報は卓話者が作成していましたので、卓話終了後 直後は会報作成期間をもうける必要もありました。今は近藤さんに感謝です。

4.今後のPGについて

(1) 反省点1 新鮮味

同じような企画で毎年PGが組まれていること。

会員数やコロナの影響は無視できませんが、新鮮味に欠けているのではという疑念を持っています。

(2) 反省点2 会員が積極的に動く事業

反省点1と同じ趣旨かもしれませんが、会員が参加して行う行事が少ないのでは。放課後 Kids 等は、直接参加のいい機会と思っています。

(3) 皆さんの知恵を貸してください。

来年の2回目の3分間卓話（5/18）の指定テーマは「こんな企画があったらなあ〜」です。どんな企画がいいなと思っておられるか、聞かせてください。

本来2月にこの卓話をして、5月にお知恵拝借と段取りを組んでいましたが、

急遽卓話となりました。十分時間がありますので、いいアイデアを期待しています。

